

平成30年10月2日

会員各位

協会だよりー310(10月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第238回月例会（見学会・懇親会）
日時：平成30年11月2日(金) 14:00-19:00
場所：造幣局さいたま支局
住所：埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-190-22
電話：048-645-5900



- 一、協会よりのお知らせ
〔実施済事項〕
〔予定事項〕
- 二、事務局より（十月度の予定）
- 三、【雑学】太田道灌の銅像を巡って
（4）（小林尚道氏寄稿）

1. 協会よりのお知らせ

〔実施済事項〕

- ① 協会だよりー309（9月号）をHPに更新及び各会員・会員OBにメールで送信
- ② HPの更新
 - 第237回月例会（共催講演会）の詳細報告
会員専用HPを更新
 - 8月度月例経費報告
 - 30年9月1日現在の会員（正・賛助）名簿の作成とPDFにて公開
 - 協会概要（新規会員用）の会員会社の更新と月例会の追加
 - HPの協会会員会社の更新をRデザインへ要請
- ③ 第37回JSCRA会の案内メール並びに第238回月例会案内のメール送信

④ 第237回月例会の開催 一般社団法人 触媒工業協会との共催講演会実施

日時：平成30年9月14日(金) 16:00-17:00 懇親会 17:00-19:00

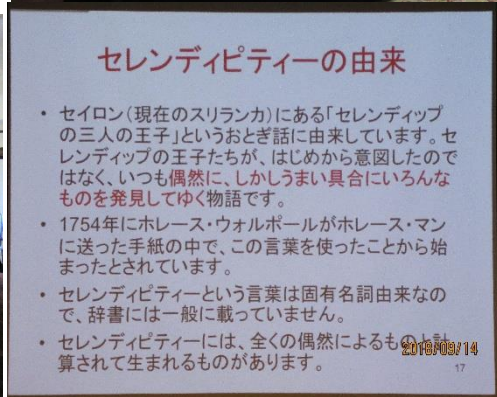
会場：学士会館320号室

演題：「触媒発見に見るセレンディピティ」

講師：小宮 三四郎 様（東京農工大学 名誉教授,首都大学東京 特任教授）

演題要旨：

触媒をとりまく科学の歴史においてノーベル賞に繋がった多くの発見は、全くの偶然や間違いに端を発しているものが少なくない。これらが大発見につながる能力はセレンディピティーと呼ばれており、研究者が意図して見つけたものもあれば、全くの偶然や単純な間違いによるものもある。日本人が大きく関わりノーベル化学賞にも繋がったいくつかの事例を解説するとともに、21世紀に向けた触媒化学や有機合成への期待について、スライド60ページ以上で講演された。以下に講演時の写真参照



参加会社と受講者数：26社41名が参加しました。当協会からは21社（32名）、相田化学工業㈱・アジア物性材料㈱・エヌ・イーケムキャット㈱・クラリアント触媒㈱・堺化学工業㈱・三和油化工業株式・JX金属㈱・ジョンソンマッセイジャパン合同会社・双日㈱・太陽鋳工㈱・田中貴金属工業㈱・中外鋳業㈱・DOWAメタルマイン(株)・日興リカ㈱・日誠金属㈱・日本無機化学工業㈱・松田産業㈱・ミヤマ㈱・安田薬品株式会社

講演会終了後は同会場にて懇親会が開催され、当協会の安田会長が挨拶・乾杯の音頭でスタートし、講師・両協会のメンバーで懇親を深めました。触媒工業会会員の千代田化工建設株式会社の細野上席参与が締められました。（次ページに写真）



⑤ 第3回運営委員会の開催

日時：平成30年9月20日(木) 16:00-17:00 懇親会 17:15-19:15

会場：堺化学工業(株) 東京支店会議室（ザイマックス岩本町ビル）

議題：●第237回月例会（共催講演会）の反省会、

●第238回月例会（11月予定の見学会）の場所選定など

出席会社：

幹事会社：237回（中外鉱業(株)・日興リカ(株)）

238回（双日(株)・(株)徳力本店）

委員会メンバー：堺化学工業(株)・安田薬品(株)・ユミコアジャパン(株)

クラリアント触媒(株)・相田化学工業(株)・日誠金属(株)

[予定事項]

① 第37回JSCRA会の開催日が決定した。

11月16日(金)に茨城県かすみがうら市にある「セゴビアゴルフ イン チョダ」で開催します。9月27日現在10名の参加者がいます。残り10名の参加者を募集中です。締切期日は11月2日

② 第238回月例会（見学会）の日程場所確定

日時：平成30年11月2日（金）14：00－19：00

場所：造幣局さいたま支局

懇親会：銀座ライオンさいたま新都心店

参加費：6,000円

締切期日：平成30年10月14日

③ 第239回月例会（講演会・新年会）の日程確定

日時：平成31年2月8日（金）午後15：00－19：00

場所：如水会館

講演：同上（講師、演題は別途確定）

新年会：同上

2. 事務局（10月度の出勤予定）

出勤予定●：9日間

日	月	火	水	木	金	土
	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6
		●		●		
10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
	体育の日	●			●	
10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20
		●		●		
10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
		●		●		
10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3
		●			●	

（文責：専務理事）

【雑学】太田道灌の銅像を巡って（4）

道灌さんの銅像巡りも、東京都新宿区の新宿中央公園、静岡県東伊豆町の伊豆熱川、長野県佐久市の3ヶ所を残すのみとなった。6月下旬この期間、JR東日本の休日クラブパスが発売される。このパスをつかうとJR東日本の路線と第三セクターの鉄道が4日間¥15,000で指定席6回を含め乗り放題となる。パスを使って6/24～25クラブOB会に盛岡へ出かけたが、パスの有効期間はまだ6/27までである。ということで道灌さんを訪ねて6/27、伊豆熱川（伊豆急下田までパスに含まれている）へ向った。自宅を8:00出発して横浜駅よりスーパービュー踊り子号に乗車伊豆熱川に11:15到着した。熱川（あついかわ）と言うことで歩いていても地熱が伝わってくる。



さて本論の道灌さんの銅像が何故、熱川に有るの？という疑問があったが、その謂れを見つけたので此处に記載しよう。「道灌は今川家六代当主・今川義忠の戦死による今川家の家督を巡る騒乱があり、小鹿憲満を支持する主君扇谷上杉定正の代理として文明8年（1476）3月から10月にかけて駿河国に出陣した。堀越公方も道灌に今川家の内乱鎮圧を命じた。今川家の交渉代表は嫡男・龍王丸を当主に据える伊勢新九郎宗瑞（後の北条早雲）であった。交渉の結果、今川義忠の嫡男龍王丸を当主に据えることにして、幼い龍王丸が成人するまでは、その後見役を小鹿憲満が勤めることで決着した。9月中旬、道灌は三島まで戻り南へ下田街道を進み、大場を経て韮山に進んだ。堀越公方足利政知の御所（伊豆の国市）を訪ね、今川家の騒動を無事調停したことを報告した。堀越公方から伊豆の南部を見分して行くよう要請があった。東伊豆海岸の河津に出、そこから白田郷という海岸に行く。少し行ったら濁った川沿いを上がり奈良本郷（集落。伊豆国賀茂郡奈良本。現・東伊豆熱川温泉）で異様な光景を目にした。何と川床や川面から湯煙が立ちこめ、猿たちが目を細め、気持ちよさそうに川辺に浸っている。この川は正に熱い川（熱川）である。」（加藤美勝『太田道灌の戦国決戦』知道出版（2017））。

道灌さんと熱川温泉の謂れは了解していただけましたか。このことから道灌さんは熱川温泉発見の始祖とも言われています。又江戸城築城の際に、築城石として「伊豆石」を

切り出し船で運搬、東伊豆町でも各地から切り出された石が海を渡って江戸へ向けて出港しました。この築城石一個12トンを人力で引いて運ぶ『御石曳』の様子を再現したものが**石曳き道灌まつり**です。（東伊豆町観光協会）何時も10月に開催されているが、今年も10月開催かな？伊豆熱川駅より海岸へ向うと、既に温泉の湯煙が漂っている。



坂道を下ると海岸に至る。熱川シーサイドホテルの前には、湯浴みのお猿さんと狩姿の道灌さんの銅像が待ち構えている。静岡県東伊豆町熱川温泉奈良本



展望の良さそうな熱川シーサイドホテルと目の前の海岸。昼食は錦という店で「鰯のたたき丼（¥1,600）」と生中をいただく。土産は金目の煮つけと鰯の干物を購入。

（執筆：小林尚道）